

地域創生メディア特論

地域創生メディア特論

2単位(選択)1年(後期),2年(後期)

檜田 美雄・准教授/地域科学専攻(博士前期課程)地域創生, 掛井 秀一・准教授/地域科学専攻(博士前期課程)地域創生

河原崎 貴光・准教授/地域科学専攻(博士前期課程)地域創生

【授業目的】技術主導ではなく人間主体のメディアとは、どのようにあるべきかを技術的側面、文化的側面、社会的側面から探求する。

【授業概要】1. コミュニケーションにおける文脈の重要性を確認し、CSCW(コンピューターに支援された共同作業)の現況を考察する。2. ヒトが感じるリアリティがどのように構築され得るのかを考察し、VR(バーチャルリアリティ)の潜在的可能性について探る。3. アートの歴史に於けるメディアの役割を概観し、現代芸術の中でのメディアの位置付けを考察する。

【キーワード】メディア環境, エスノメソドロジー, CSCW

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】この授業は隔年開講科目である。23年度,25年度は開講せず。

【到達目標】メディアについて多角的に、批判的に評価できるようになる。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 実践的エスノメソドロジー入門
3. ビデオエスノグラフィーとは何か
4. 会話の分析＝重なり・沈黙・呼応＝
5. 社会的なものとしてのコミュニケーション
6. バーチャルリアリティと仮想現実
7. バーチャルリアリティのリアリティ
8. バーチャルリアリティを構築する技術
9. バーチャルリアリティの適用事例
10. バーチャルリアリティの可能性
11. テクノロジーとアート1 芸術に向かって
12. テクノロジーとアート2 技術に向かって
13. 表象表現とメディア1 メディアについての表現
14. 表象表現とメディア2 ニューメディアを使用した表現
15. 総括
16. 試験

【成績評価】授業貢献および試験

【再試験】実施せず。

【教科書】

◇ 山崎 敬一編 2004 『実践エスノメソドロジー入門』有斐閣

◇ 好井 裕明・串田 秀也編 『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』世界思想社 2010

【参考書】授業において適宜指示

【WEB 頁】<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/>

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218168>

【連絡先】

⇒ 掛井 (マルチメディア B 棟 206, 088-656-7166, kakei@ias.tokushima-u.ac.jp)
MAIL (オフィスアワー: 水曜5・6, 檜田は火曜日14:00-15:00SVBL棟3階プロジェクト研究室)

【備考】

◇ (檜田のオフィスアワーは) 火曜日 14時～15時の予定(面談申込書あり, 檜田研ドアに掲出)

◇ ★12月4日(土) 午後に, ユニバーサルデザイン映画会を, 本講義の一部として実施。受講生はこの日の予定を空けておくこと。

地域創生メディア特論

2 units (selection) 1st-year(2nd semester), 2nd-year(2nd semester)

Yoshio Kashida · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES, Hidekazu Kakei · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Takamitsu Kawarasaki · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Target) 技術主導ではなく人間主体のメディアとは、どのようにあるべきかを技術的側面、文化的側面、社会的側面から探求する。

Outline) 1. コミュニケーションにおける文脈の重要性を確認し、CSCW(コンピューターに支援された共同作業)の現況を考察する。2. ヒトが感じるリアリティがどのように構築され得るのかを考察し、VR(バーチャルリアリティ)の潜在的可能性について探る。3. アートの歴史に於けるメディアの役割を概観し、現代芸術の中でのメディアの位置付けを考察する。

Keyword) *media environment*, *エスノメソドロロジー*, *CSCW*

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) この授業は隔年開講科目である。23年度、25年度は開講せず。

Goal) メディアについて多角的に、批判的に評価できるようになる。

Schedule)

1. ガイダンス
2. 実践的エスノメソドロロジー入門
3. ビデオエスノグラフィーとは何か
4. 会話の分析＝重なり・沈黙・呼応＝
5. 社会的なものとしてのコミュニケーション
6. バーチャルリアリティと仮想現実
7. バーチャルリアリティのリアリティ
8. バーチャルリアリティを構築する技術
9. バーチャルリアリティの適用事例
10. バーチャルリアリティの可能性
11. テクノロジーとアート 1 芸術に向かって
12. テクノロジーとアート 2 技術に向かって
13. 表象表現とメディア 1 メディアについての表現
14. 表象表現とメディア 2 ニューメディアを使用した表現
15. 総括
16. 試験

Evaluation Criteria) 授業貢献および試験

Re-evaluation) 実施せず。

Textbook)

- ◇ 山崎 敬一編 2004 『実践エスノメソドロロジー入門』有斐閣
- ◇ 好井 裕明・串田 秀也編 『エスノメソドロロジーを学ぶ人のために』世界思想社 2010

Reference) 授業において適宜指示

Webpage) <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218168>

Contact)

⇒ Kakei (マルチメディア B 棟 206, +81-88-656-7166, kakei@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜5・6, 榎田は火曜日14:00-15:00SVBL棟3階プロジェクト研究室)

Note)

- ◇ (榎田のオフィスアワーは) 火曜日 14時～15時の予定 (面談申込書あり, 榎田研ドアに掲出)
- ◇ ★12月4日(土) 午後に、ユニバーサルデザイン映画会を、本講義の一部として実施。受講生はこの日の予定を空けておくこと。